



グループ相談報告

のびすく仙台では毎月“子育て”をテーマに講師の方をお招きしてグループ相談を開催しています。

“こんな時どうしたらいいのかな…” “これでいいのかな…”そんな気持ちを抱いた時に参考にしてくださいね。

11/16 (木) 「子どものおもちゃ」

7組 14名が参加。手づくりおもちゃの作り方などのお話があり、参加者の質問にも丁寧に答えて頂きました。講師からの手作りおもちゃのプレゼントに、子どもママも大喜び！牛乳パックや空き箱など、身近なもので楽しいおもちゃを作れることに驚いていました。

楽しそうに遊ぶ子どもの姿をみて「手づくりおもちゃでたくさん遊びます。」「お家で真似して作ってみます。」などの感想がありました。

講師 Profile マミー(村岡真由美)さん

NPO 法人 日本グッド・トイ委員会認定おもちゃコンサルタント・マスター。平成22年アクティビティインストラクター取得。教育関係者・子育て関係機関等で講師、イベント会場など遊びの出張講座を開催している。

★マミーさんの手づくりおもちゃ★



キラキラときれいなもの、音の鳴るもの、言葉を楽しんだり、触ったり、指を動かすなど五感を使うことはとても刺激になります。お子さんの成長や発達に合わせて、作ってあげてくださいねとのお話がありました。

Q:おもちゃを貰うことが多く、お家がおもちゃでいっぱいです。(0歳児ママ)

A:おもちゃを「主食」「おやつ」「バザー一品」の3種類に分けてみましょう。主食は脳を使うおもちゃ(つみきなど)、おやつは電池を入れ、ボタンを押して遊ぶものなど、あまり遊ばないおもちゃは、バザー一品です。分けることでお片づけもしやすくなります。

Q:おもちゃを箱ごとひっくりかえします。(1歳児ママ)

A:ポイポイと箱に入れる習慣をつけてみてはどうでしょう。好きなキャラクターの箱に入れてみようか！など一緒に楽しみながらやってみるのもいいと思います。

乳幼児期は、いろいろな感覚が急速に発達する時期です。親子のスキンシップを楽しむ手段のひとつとして、簡単にできる手づくりおもちゃはおすすめです。一緒に作って、楽しみながら遊みましょう。



12/14 (木) 「子どものための救命救急講座」

講師 Profile 青葉消防署救急係 佐藤さん

13組 26名が参加。子どもの病気やけがの予防法と、応急処置のしかたや異物を飲み込んでしまった時の対処法のお話の後、人形を使って1、人ずつ心肺蘇生法とAEDの使い方を教えて頂きました。

「実際に心臓マッサージを体験することもでき、役立つ情報や知らなかったことも教えてもらってよかった」「必要な時にパニックにならず、日頃から練習して冷静に対応できるようにしたい」との感想もありました。

☆子どもの病気やけが 応急手当(資料より一部抜粋)

- 発熱…冷やす、解熱剤をむやみに使い過ぎない、低体温注意
- 熱中症…水分補給(塩分も糖分も)、帽子、涼しいところ、締め付けを緩める。
水分を噴霧、うちわで扇ぐ。
- 誤嚥・誤飲…4cm以下のものを地上1m以内に置かない。錠剤、ボタン電池、ピーナッツ。頭を下にして背中を叩く、指で出す時は押し込まないように注意。吐かせてはいけない物もある。飲んだものを病院に持参する。
- やけど(熱傷)…熱いものは全て危険、母親の家事の最中に起こりやすい。
流水を貯めて冷やす、シャワーを活用する、水泡はやぶらない、低体温注意。
- 頭部を打つ…意識消失の有無。その後の観察で目がうつろ、元気がない、嘔気、嘔吐は注意。
- 心臓マッサージ…1分間に100回のテンポで30回連続で押す。

※「アンパンマンのマーチ」のうた

♪そうだ、おそれないで〜♪の歌のテンポに合わせて行くといい。

☆宮城県こども夜間安心コール

毎日 午後7時～午後11時

15歳未満の子どもの医療相談、応急手当の助言

☎「022-212-9390」または「#8000」

PHS不可

☆仙台市夜間休日こども診療所

仙台市急患センター小児科が、あすと長町の市立病院1階へ移転しました。

平 日:午後7時15分～翌午前7時

土曜日:午後2時45分～翌午前7時

日 祝:午前9時45分～正午、午後1時15分～5時

午後6時～翌午前7時



救急ナビ(アプリ)

仙台市消防局では「応急手当」をいつでもどこでも気軽に学べる無料アプリを提供しています。いざという時に「119通報」と「心肺蘇生法」の一連の流れを分かりやすくナビゲートしてくれます。急な病気やけがの症状から判断に迷った時に自ら判定することが出来る「救急受診ガイド」も追加しました。ぜひ、活用してみてください。

※救急ナビで検索できます。